

平成 29 年 1 月 22 日(日)

(第 38 号)

ワンネット通信
NPO ワンストップリーガルネット

発 信 者 理事長 大内田 治男
E-mail ouchidaoffice@kce.biglobe.ne.jp
電 話 0942-39-0926 FAX 0942-31-5336

年 頭 所 感

理事長 大内田 治男

新年明けましておめでとうございます。

本年は「酉」年で、干支の一巡の最後を飾って NPO 法人ワンストップリーガルネット（以下ワンネットと称す。）の設立以来 12 年目を迎えることになりました。

会員の退会は多少ありましたが、現時点では、多方面からの専門家が入会され、平成 29 年 1 月 1 日で 37 名の正会員、賛助会員となりました。この後にも続々と新しい会員の増加が予測されます。当ワンネットの主事業は、設立当初来の「暮らしの無料相談会」ですが、毎回 20 名程の相談員で 20 件以上の事案を受けるまでに浸透してきました。会員の地道で、絶え間ない努力の結果と感謝申し上げます。

また、男女平等推進ネットワーク会所属の「えがりて」の会に参画し、昨年は実行委員として活躍し、(公財)久留米観光コンベンション国際交流協会後援でのパネルディスカッションを開催し、テーマの「YOUは何しに久留米へ」は好評を博しました。

日本政府が、農業人口の減少による農業の衰退、TPP 問題がもたらす危機感の対応策として、農業政策を大きく取り上げています。ワンネットも昨年、農業・農村セミナー、内部研修等を開いて農業・農村問題に取り組んだところ、関心を持つ人が思いがけず多く、このワンネットへの入会、サポーターとしての賛同者が増えています。

雄大な筑後川を囲む筑後平野は、福岡県は言うに及ばず、全国でも有数な農業地区であります。地の利（肥沃な筑後平野）、時の利（生活基盤である農業改革）、人の利（ワンネットの専門家集団の活用）等が揃った今が活動の時機と思われまます。

本年度の抱負として、ワンネットが名実共に周知されるための認定 NPO を取得し、国家戦略特区での農業特区を久留米市に働きかけてみようとと思っています。さらに、ワンネット内で社会に貢献できるプロジェクトを立ち上げ、グループ事業として運営し、手作りの喜びを味わってみましょう。

みなさん、共に大きな夢（目標）に向かって、進んで行こうではありませんか。

●入会者の紹介

12月1日付で島 信英さん（会社経営）が賛助会員として、1月1日付で黒岩 信彦さん（技能実習生受入事業）が正会員として、お二人の入会者がありました。そして早速、お二人から入会のごあいさつをいただきましたので、ご紹介いたします。

島 信英さん

この度、入会のご承認をいただきました株式会社シマブンの島 信英です。

昭和62年大学卒業後就職、平成元年に弊社入社、平成13年から代表をさせていただいています。業種は浴室排水溝の製造で、全国の業界メーカーや商社に販売しています。現在は、国内の販売だけではなく、アジアへの輸出も挑戦中です。

ワンネットには、大内田理事長に弊社の労務関係をお願いしており、理事長の久留米市に対する熱い思いや農業の話を通き入会をお願いしました。今後、付加価値の高い農業は大いなる可能性の高い産業で、国内だけでなく海外のお客様はメイドインジャパンの安全な農産物を待っておられます。これから、ご指導のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

島 信英

〒849-0112 三養基郡みやき町江口 2488-5 株式会社シマブン

Tel 0942-89-5235 Fax 0942-89-5306

黒岩 信彦さん

この度、NPO ワンストップリーガルネットに入会の機会を与えてくださり、ありがとうございます。

2年ほど前、クロノ事業協同組合を立ち上げ、農業、介護の技能実習生を取り扱うため、フィリピン共和国と契約を結び、厚生労働省の有料職業紹介事業の許可をしたのが、平成29年1月5日でした。

事業協同組合の設立に関し、大内田理事長と話しているうち、私の組合がこれから必要だと力説され、入会を強く希望するようになりました。

以前、私は、フィリピンから、ダンサーを招聘する会社をしていたので、フィリピンにはコネクションが有り、この仕事に携わるようになりました。

私の事業がワンネットに少しでも貢献できればと願っています。

クロノ事業協同組合

〒830-0038 久留米市西町 1030 番地 10 グランベール 103 号

[TEL:0942-36-6711](tel:0942-36-6711) E-mail:unison@mocha.ocn.ne.jp

「男女平等参画フォーラム “参加” 雑感」

社会保険労務士 古賀隆広

「久留米女性週間記念事業 男女平等社会づくり KURUMRME FORUM2016」の実行委員として平木先生と共に、ワンネットを“代表して”昨年、参加させていただきました。そこで感じたことを述べたいと思います。

「くるめフォーラム」とは男女平等社会づくりを理念に掲げ、久留米女性週間記念事業として毎年 10 月の 2 日間にわたり、男女平等推進センター「えーるピア久留米」において開かれる、一大“文化祭”です。

軽い気持ちで出席した、平成 28 年 1 月の第 1 回実行委員会の“衝撃”は今でも忘れることができません。なんと会場は人生の荒波を乗り越えてきた女性“アマゾネス”軍団で熱気ムンムン！男性は数人しかおらず、“荒れた”株主総会の様相を呈します。

ここでは「新米」男性の出る幕などありません。すごいエネルギーに圧倒されたまま終了。えーるピアの門を出る時は夜 10 時を回っていて、足取りは重く疲労感でぐったりです。

初回会議で、フォーラム催事の具体的役割分担として、記念講演会部門、市民企画部門、展示バザー部門等、希望に応じ委員全員に振り分けられました。私達は比較的“楽”と思い映画部門に参加しましたが、これが“後悔”に変わるのに時間はかかりませんでした。当部門ではフォーラム開催の映画選定をするのですが、まず数本候補を上げ、レンタルビデオを借りえーるピアで試写をします。試写後意見を述べ、書面に取りまとめて絞り込んでいきます。これらを部門スタッフみんなでやります。試写は午前も午後も行われ、一回の試写に 2 時間はかかりますから自分の仕事どころではありません。

一方で、一同に会する夜間の実行委員会もほぼ、月 1 回のペースで開催され、全体の進捗すり合わせが行われます。1 月から最終 11 月まで 11 ヶ月にわたり合計 8 回、個別の映画部門も別途 19 回・・・その他ポスター、チラシの貼付、配布手配・・・

映画選定も済み、いよいよフォーラム当日がやって来ました。上映は日に数回、入替制なので聴衆の誘導が大変です。一時保育の手配等もありました。（これは女性ならではの視点ですね）当の映画は事前の予想に反し、かつてないほどの盛況大入りでした。

映画会終了しても休んではおれません。数百枚のアンケートの集計分析および報告等々・・・目が回る忙しさでした。

とりとめもなく書いてしまいました。では何を感じたかということ、

第一に、最初の“女性ばかり”の中に置かれた「圧力感」とも言うべき何とも落ち着かない違和感というのは、翻ってみると、女性が常日頃、“男性ばかりの”仕事社会では感じていることではないのか？ということ。

第二に、意見集約と合意形成のプロセスとアプローチが男性とは違う気がしたこと。発散ともいうべき意見、クレーム、要望が飛び交う中、時間をかけて「みんなで」意見集約を計るその姿勢に、最初、もどかしさを感じていた私も、最後の方はその女性特有の粘り

強さに感嘆したものでした。

第三に、フォーラムとは直接関係ありませんが、男女平等推進センターの職員さんまでもが「期間の定めのある労働者」である、ということ。・・久留米市は自治体の中でもワーストの部類に入る非正規雇用者が多いそうです。

以上が、久留米フォーラム 参加の雑感です。

なお、実直に出席し、書類を整理していただいた平木先生（先生はくーみんテレビにも広報出演されました）およびワンネットからの“次回フォーラム強制派遣”を快諾していただいた山浦先生にこの場を借りてお礼申し上げます。

●29 年 1 月の無料相談会

平成 29 年酉どしの幕開けの「暮らしの無料相談会」に興味を持って臨みました。

1 月 11 日（水）10 時 30 分から 15 時までを相談会、その後 1 時間を反省会と市民活動サポートセンター「みんくる」で開催しましたが、実績はまあまあでした。

相談員としては、村上公証人と 18 人のワンネット会員（大内田、松枝、鹿子生、橋口、中村（妙）、藤島、栗林、永田、森、神野、寺田、山浦、平木、坂井、古賀（信）、仲家、田中、森部）のみなさまでした。

相談に訪れた人は 17 人で相談件数は 17 件。相談内容は遺言・相続 7 件とその他 10 件（生前贈与、年金分割、ボランティア活動、債務 2 件、警察への苦情、借金返済、隣人とのトラブル 2 件、増築による一部名義変更）。その中で継続しての相談は 4 件でした。個人債務、隣人トラブル等と人間性に入っていく問題が多くなったようです。

次回は 2 月 8 日（水）、受付担当は中村（妙）、神野の両会員です。

公証業務相談は 1 月 25 日（水）田村公証人と宮地会員の予定で、その次は村上公証人と寺田会員が 2 月 15 日（水）の担当となっています。

1 月のワンネット通信で、公証業務相談を 1 月 18 日（水）とお知らせしましたが、1 月 25 日（水）の誤りで、深くお詫びいたします。本年も元気に、前進していきましょう。

●「無料相談会」前期分の集約

「暮らしの無料相談会」28 年度前期が終わり、集約しました。6 か月間の状況は、次のとおりです。

相談者総数は 136 人（前年同期は 92 人）、相談件数は 125 件（前年同期は 111 件）で、1 回平均 22.7 人の相談者が訪れ、相談件数は 1 回当たり 20.8 件。相談者・件数とも増え続けています。

内訳は、遺言・相続 45 件（前年同期 46 件）と相変わらず多く、離婚が 18 件（前年同期 11 件）と増加傾向。また成年後見は 5 件（前年同期 11 件）、年金 0 件（前年同期 1

件)。特筆すべきは「その他」で 57 件（前年同期 42 件）と増加し続けていること。その中身は、近隣トラブル、出資金の返済を求めるもの、互助会とのトラブルなど難題が多く寄せられるようになり、また税がらみの案件、永代供養や死後事務、終活といった高齢者の相談が増える傾向にあります。また、1 回限りでなく継続して相談に訪れるリピーターは 25 件（1 回平均 4.2 件）と、前年当たりから伸びているようです。

増加の要因は、何といても相談員の真摯な対応。そして「何でも相談に乗ります」という本会の姿勢と、多彩な専門家が揃っていて相談の幅が広いなどが市民の信頼を得ているといえましょう。

毎回、いろいろな難問の案件を持って多くの相談者が訪れますが、これに対応するのが久留米公証役場の公証人とワンネット会員。今期 6 か月間の相談員総数は 111 人（前年同期 93 人）で、1 回平均 18.5 人が参加したことになります。この地道な取り組みが市民に安心を与えていると思います。そして、これからも、相談者の信頼に応えていきたいものです。

事業の後援を受けている久留米市と久留米市社会福祉協議会に事業報告書を提出し、今後の支援を要請します。

平成 28 年度前期「暮らしの無料相談会」内容別集計表

特定非営利活動法人 ワンストップリーガルネット

実施日	曜日	相談員数	相談者数	相談件数	遺言・相続	離婚	成年後見	年金	その他	その他の内容
平成 28 年 8 月 10 日	水	20	36	33 (8)	14	5	2		12	・滞納家賃 ・抵当権抹消 ・お墓のこと ・公正証書の機能 ・遺産分割 ・母の金銭管理 ・年金分割 ・農地の転売 ・贈与税 ・生前贈与 ・帰化 ・会社経営
9 月 14 日	水	16	24	23 (5)	9	4	1		9	・電気工事不良 ・交通事故 ・商標登録 ・税金 ・互助会のトラブル ・抹消手続き ・所有地の寄付
10 月 12 日	水	17	14	13 (4)	4	3			6	・土地問題 ・フランチャイズの税 ・消費税 ・NHK受信料 ・帰化 ・退職時の手続き
11 月 9 日	水	19	22	19 (2)	5	2	2		10	・洗濯物の返却 ・身障者の世話 ・不動産の返却請求 ・永代供養 ・交通事故 ・家屋の建築 ・不動産の名義変更 2 件 ・相続税 ・姓の変更手続き
12 月 14 日	水	20	23	21 (3)	7	4			10	・交通事故 ・死後事務 ・不動産売買 ・生前贈与 2 件 ・保証人 2 件 ・リース ・相続税 ・介護
平成 29 年 1 月 11 日	水	19	17	16 (3)	6				10	・贈与 ・生命保険の給付トラブル ・終活 ・出資金の返済請求 ・警察への苦情 ・近隣トラブル 2 件 ・息子の借金 2 件 ・増築計画で銀行が別の名義人を要求
合計		111	136	125 (25)	45	18	5		57	
1 回平均		18.5	22.7	20.8 (4.2)	7.5	3.0	0.8		9.5	

* 相談員数には、公証人を含みます。相談件数のカッコ書きは継続相談件数で内数。

●農業セミナーに 59 人の参加

ワンネット主催「市民いきいきセミナー」は 1 月 16 日（月）14 時～16 時 30 分、えーるピア久留米で開催しましたが、59 人の市民の参加がありました。

昨年度から取り組んでいるテーマが「農業・農村をもっと身近に」。その第 3 弾の今回は、福岡県の農政を担当する 3 人の専門家から話を聞くものでした。



農業委員会の役割について、熱心に聴く参加者のみなさん（1 月 16 日、えーるピア）

具体的なテーマは、農業経営の合理化を図り、農業者の地位向上を目的に市町村に設置されている農業委員会の役割を起点として、農業振興地域や農地転用許可制度、新規就農の取り組み、そして農業・農村の多面的機能の事業に及びました。会場は終始熱気のある 2 時間半でした。参加者から寄せられたアンケートを紹介することで報告とします。

（アンケートの結果）

セミナー出席者	59 人
アンケート回答者	38 人（男性 31 人 女性 7 人）
	20 代 1 人、30 代 1 人、40 代 1 人、50 代 7 人、60 代 14 人、70 代 12 人、80 歳以上 2 人

問 1 講師の説明は理解できましたか。

① 理解できた 14 ② ほぼ理解できた 21 ③ あまり理解できなかった 4
④ 理解できなかった 0

問 2 問 1 で、3 か 4 と回答された方にお尋ねします。理解できなかった理由は何ですか。

① 内容が難しすぎた 2 ② 講師の説明が分かりにくかった 2

問 3 今回の講座について、ご意見をお聞かせください。

回答者 38 人のうち 25 人から記述がありました。勝手ですが、2～3 紹介します。

- ・「中山間応援サポーター」は、ボランティアという言葉はないが、一種の「やりがい搾取」ではないか。報酬を支払って継続できるようになれば良い。(50 代、男)
- ・農業も林業も、暮らしていける場ができれば、若者も戻ってくるのではないか。(60 代、男)
- ・県の取り組みは分かった。もっと所得についての情報が欲しかった。(70 代、女)
- ・初めて参加したが、今後も続けてほしい。(60 代、男)
- ・知らないことが聞けて勉強になった。法人化についてなど聞きたい。(20 代、男)

このような市民向けセミナーは、市民とのキャッチボールが必要で、回を重ねる中で積み上げていくものだと思えます。とりわけ農業問題は、都市生活者を中心とした市民の関心がエネルギーの源泉です。そのためには、1 人ひとり賛同者の輪を広げていく地道な取り組みが大事だと謙虚に受け止めています。最後に、お手伝いを含めて多くの会員にも参加していただき、ありがとうございました。(栗林 武敏)

●寄付のご報告

このほど、ワンネットへの寄付がありましたので、みなさんにご報告し、お礼を申し上げます。(敬称略)

受取日	お名前	金額	内訳
平成 29 年 1 月 6 日	藤島 多賢	45,000 円	業務受託

●会費納入のお願い

28 年度会費の納入がお済でない会員がおられます。その方々には直接、文書で催促しますので、速やかにお支払いいただくようお願いいたします。納入は、ゆうちょ銀行振替口座(ワンネット指定)へ振り替える方法でお願いします。

●2 月 4 日、理事会を開催します

1 月末で 28 年会計年度前半が終わったことで、ワンネット理事会を開催します。

- 日時 2 月 4 日(土) 15 時 30 分～17 時 30 分
- 場所 男女平等推進センター会議室(えーるピア久留米 2 階)
- 議題 会運営について

理事・監事には文書でご案内しますが、役員でない会員の参加も OK で、参加して積極的なご意見・ご質問を期待します。

次回「ワンネット通信」は 2 月 26 日(日)の発行を予定しています。
みなさまからのお気軽なご寄稿、ご意見・ご感想をお待ちしております。